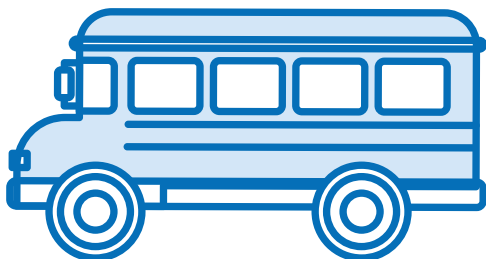
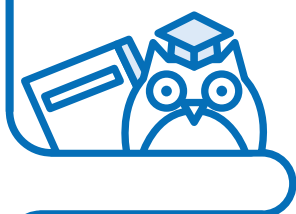




自分で選んで
多様に学ぶ

高校 単位制

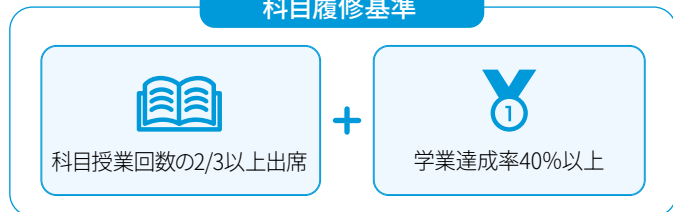


高校単位制って何？

≫ 高校単位制とは、生徒が進路や適性に応じて科目を選択し、履修基準に達した科目の単位を取得・合算することにより所定の要件を満たして卒業する制度です。



科目履修基準



≫ どうして必要なの？

「生徒が学びたい科目を自分で選択」

科目選択

自己主導型学習能力の向上
積極的な進路設計

「各自が進路や適性に応じて選んだ科目を学び、その達成度を評価」

競争ではなく
成長のための教育

「科目履修基準を満たせるよう、必要な場合は予防的・補習指導を実施」

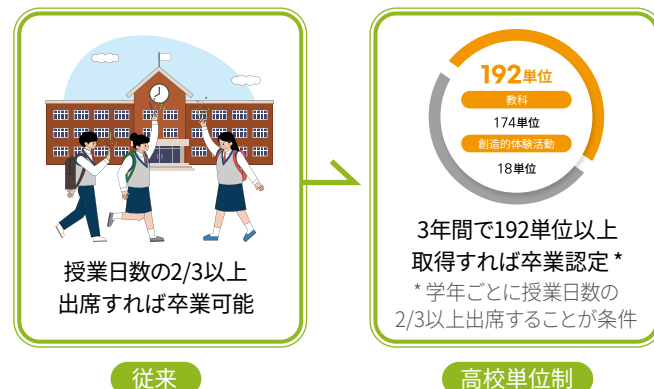
責任ある教育による
公教育の競争力向上

「学校と地域社会の機関が協力して科目を開設」

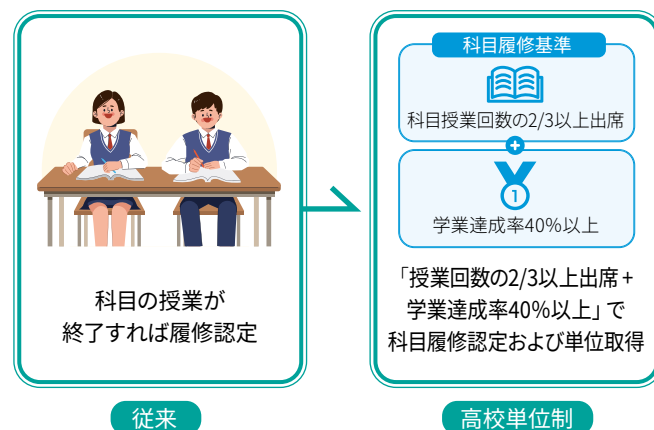
教育課程の多様化
幅広い学びの機会を提供

≫ 何が変わるの？

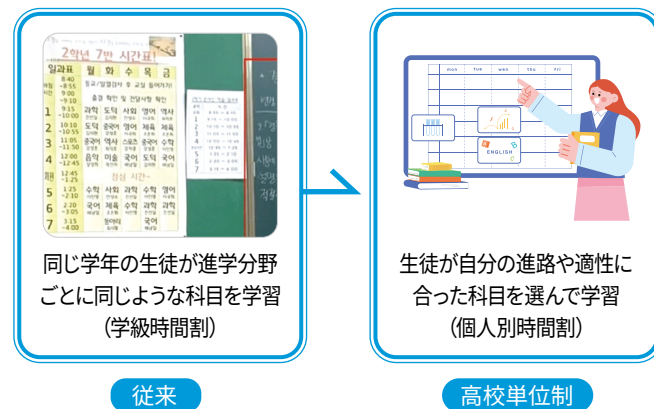
01. 卒業要件が変わります。



02. 科目履修基準が適用されます。



03. 生徒ごとに時間割が作られます。



高校単位制はどのように運営されるの？

≫ 2025年から高校に入学する生徒は、以下の流れで単位を取得し、卒業することになります。

「高校単位制型学事制度」について

ステップ1

多様な科目編成

個々の生徒に合わせた教育課程
運営のための多様な科目編成



ステップ2

進路・学業設計

進路・学業相談後に
学習計画を策定



ステップ3

受講申請

学習計画に従って
科目の受講を申請



ステップ4

授業運営

活動中心の参加型授業
(討論・実習など)



ステップ5

学習評価

生徒の成長をサポート
する過程中心の評価、
達成評価制を適用



ステップ7

卒業

3年間で192単位以上
取得すれば卒業認定
(学年ごとに授業日数の2/3以上出席することが条件)



ステップ6

単位取得

科目履修・
単位取得



授業回数の2/3以上出席
+
学業達成率40%以上

履修

補習指導

どんな科目があるの？

≫ 2022年改訂教育課程では、下記科目の中から学びたい科目を選択することができます。

共通科目

基礎的な素養と基本的な学力を養うための科目
★ 全生徒の必修科目

一般選択科目

教科別学問の細分化された主な学習内容を理解・探究する科目

進路選択科目

教科別深化学習および進路関連の科目

融合選択科目

教科内・教科間のテーマ融合科目、
実生活での体験・応用に関する科目



≫ 2022年改訂教育課程の普通教科

教科(群)	共通科目	選択科目		
		一般選択	進路選択	融合選択
国語	共通国語1 共通国語2	話法と言語、 読書と作文、 文学	テーマ探究読書、 文学と映像、 職務コミュニケーション	読書討論と作文、 メディアコミュニケーション、 言語生活探究
数学	共通数学1 共通数学2	代数、微積分Ⅰ、 確率と統計	幾何学、微積分Ⅱ、 経済数学、 人工知能数学、 職務数学	数学と文化、 実用統計、 数学課題探究
	基本数学1 基本数学2			
英語	共通英語1 共通英語2	英語Ⅰ、英語Ⅱ、 英語読解と作文	英米文学リーディング、 英語スピーチと討論、深化英語、 深化英語読解と作文、 職務英語	日常英会話、 メディア英語、 世界の文化と英語
	基本英語1 基本英語2			
社会 (歴史・ 道徳を 含む)	韓国史1 韓国史2	世界市民と地理、 世界史、 社会と文化、 現代社会と倫理	韓国地理探究、 都市の未来探究、 東アジア歴史紀行、 政治、法と社会、経済、 倫理と思想、人文学と倫理、 国際関係の理解	旅行地理、 歴史で探求する 現代世界、 社会問題探究、 金融と経済生活、 倫理問題探究、 気候変動と持続可能な世界
	統合社会1 統合社会2			
科学	統合科学1 統合科学2	物理学、化学、 生命科学、 地球科学	力学とエネルギー、電磁気と量子、 物質とエネルギー、化学反応の世界、 細胞と物質代謝、 生物の遺伝、地球システム科学、 惑星宇宙科学	科学の歴史と文化、 気候変動と環境生態、 融合科学探究
	科学探究実験1 科学探究実験2			

教科(群)	共通科目	選択科目		
		一般選択	進路選択	融合選択
体育		体育1、体育2	運動と健康、 スポーツ文化*、 スポーツ科学*	スポーツ生活1、 スポーツ生活2
芸術		音楽、美術、演劇	音楽演奏と創作、 音楽鑑賞と批評、 美術創作、 美術鑑賞と批評	音楽とメディア、 美術とメディア
技術・家庭 & 情報		技術・家庭	ロボットと工学世界、 生活科学探究	創造工学設計、 知的財産一般、 生涯設計と自立*、 児童の発達と親
		情報	人工知能基礎、データ科学	ソフトウェアと生活
第2外国語 & 漢文		ドイツ語、 フランス語、 スペイン語、 中国語、 日本語、 ロシア語、 アラビア語、 ベトナム語	ドイツ語会話、 フランス語会話、 スペイン語会話、 中国語会話、 日本語会話、 ロシア語会話、 アラビア語会話、 ベトナム語会話、 深化ドイツ語、 深化フランス語、 深化スペイン語、 深化中国語、 深化日本語、 深化ロシア語、 深化アラビア語、 深化ベトナム語	ドイツ語圏文化、 フランス語圏文化、 スペイン語圏文化、 中国文化、 日本文化、 ロシア文化、 アラブ文化、 ベトナム文化
		漢文	漢文古典の読解	言語生活と漢字
教養		進路と職業、 生態と環境	人間と哲学、論理と思考、 人間と心理、教育の理解、 人生と宗教、保健	人間と経済活動、論述

≫ 上記以外にも、科学・体育・芸術系の選択科目や特性化高校の専門教科科目、教育監承認科目など、様々な科目の開設が可能です。

< 開設科目例 >

科学・体育・ 芸術系の選択科目

専門数学、上級物理学、
スポーツ概論、小説創作、
演劇と身体など

特性化高校の 専門教科科目

商業経済、保育課程、
文化コンテンツ産業一般、
美容の基礎など

教育監承認科目

スマート農業の理解、
エネルギー環境科学、
データ科学と人工知能など

科学・体育・芸術系の選択科目、特性化高校の専門教科科目の種類については
2022年改訂教育課程を参照 (<https://ncic.re.kr/>)

希望する科目が開設されていない場合は？

≫ 学校によっては希望する科目が開設されていないこともあります。その場合、共同教育課程やオンライン学校で開設されている科目を受講することができます。

共同教育課程

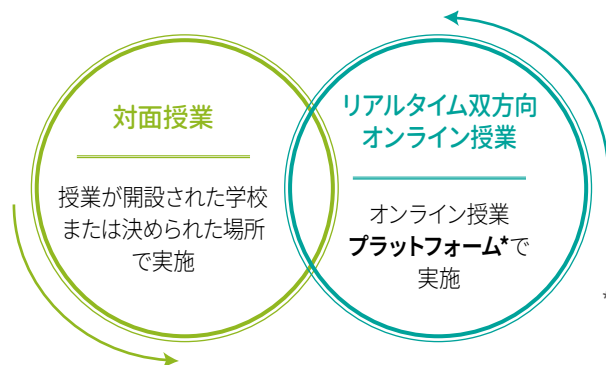
≫ 共同教育課程って何？

生徒の所属する学校で開設されていない科目を、他の学校や大学、地域社会機関と連携・協力して運営する教育課程です。



≫ 共同教育課程の授業はどんな形で行われるの？

共同教育課程の授業は、対面授業またはリアルタイム双方向オンライン授業の形で行われます。場合によっては、対面授業とオンライン授業の両方を行うこともあります。



* 教室オンドット
edu.classon.kr

オンライン学校

≫ オンライン学校ってどんな学校？

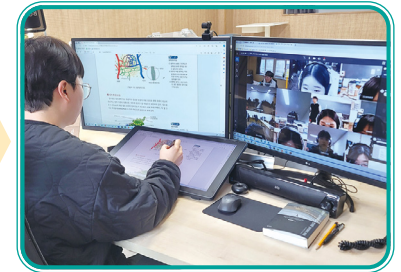
個々の学校で開設することが難しい科目をオンラインで提供する学校です。オンライン学校で科目を開設すると、その科目を受講する生徒は自分の学校でリアルタイム双方向オンライン授業に参加します。

01 オンライン学校の教師が
オンライン授業を行う



出所：光州ピッコウルオンライン学校

02 生徒は自分の学校で
オンライン授業に参加



出所：慶南オンライン学校

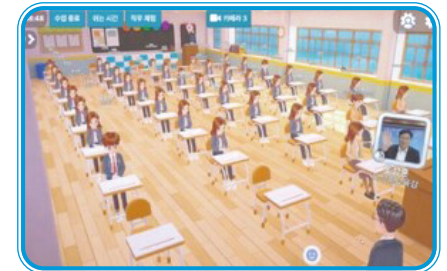
相互作用

03 オンライン学校に集まって
対面授業を受けることも可能



出所：大邱広域市教育庁プレスリリース

04 メタバースで先生や
友達に会うことも可能



出所：仁川広域市教育庁プレスリリース

※ 2024年3月現在、全国5か所の市・道教育庁（慶尚南道、大邱、仁川、光州、全北）でオンライン学校が運営されており、2025年には全国17か所の市・道教育庁で運営される予定

その他方法

≫ 学校外教育

学校での開設や共同教育課程・オンライン学校での運営が難しい科目や創造的体験活動を地域社会機関*で履修

* 地域社会機関

地方自治体や教育庁が運営する機関、大学、非営利団体、「生涯教育法」による生涯教育機関など、公共性を有する機関（私設機関を除く）のうち、教育監が承認した機関

学習評価方法は？

≫ 2025年度以降の入学者は、一部の科目*を除き、高校の内申評価に生徒の達成度 (A~E) と席次等級 (1~5等級) が併記されます。

* 体育・芸術・教養教科(群)、科学探究実験、社会・科学融合選択科目は絶対評価の達成度のみ記載

≫ 大学への科目別評価提供方法

2015年改訂教育課程 (2025年より前の入学者)

区分	絶対評価		相対評価	統計情報			
	素点	達成度	席次等級	達成度別分布比率	科目平均	受講指数	標準偏差
普通教科	○	-	9等級	-	○	○	○
進路選択	○	A・B・C	-	○	○	○	-
体育・芸術	-	A・B・C	-	-	-	-	-
教養	-	P	-	-	-	-	-
専門教科Ⅰ	○	-	9等級	-	○	○	○
専門教科Ⅱ	○	A・B・C・D・E	-	-	○	○	○

2022年改訂教育課程 (2025年以降の入学者)

区分	絶対評価		相対評価	統計情報			
	素点	達成度	席次等級	達成度別分布比率	科目平均	受講指数	標準偏差
普通教科	○	A・B・C・D・E	5等級	○	○	○	-
社会・科学融合選択	○	A・B・C・D・E	-	○	○	○	-
体育・芸術&科学探究実験	-	A・B・C	-	-	-	-	-
教養	-	P	-	-	-	-	-
専門教科	○	A・B・C・D・E	5等級	○	○	○	-

* 出所：2028年大学入試制度改編確定案 (2023年12月)

※ 社会・科学教科の融合選択 (2022年改訂教育課程<表5>の科目に限る) は席次等級を不記載
 ※ 体育・芸術・教養教科(群)、科学探究実験の科目達成度はA・B・Cで評価し、教養科目はPを記載
 ※ 特殊目的高校における専攻関連の選択科目 (2022年改訂教育課程の普通教科内<表6>に別途記載) は相対評価を併記

科目履修基準は？

≫ 高校単位制が全面実施される2025年の高校1年生からは、高校の全科目について科目履修基準が適用されます。

科目履修基準



科目授業回数の2/3以上出席

+



学業達成率40%以上

≫ 科目の履修をサポートするため、最低達成レベル保障指導 (予防的指導、補習指導) が行われます。

最低達成レベル保障指導

予防的指導

科目履修基準に満たないおそれがある生徒を対象に事前指導

+

補習指導

科目履修基準に満たなかった生徒を対象に実施

段階

時期

運営内容

準備段階

授業・評価計画の策定

学期開始前

• 最低達成レベル保障指導計画を策定
 ※ 最低達成レベル保障指導 (予防的・補習指導) 対象者の選定・指導方法など

第1段階

基準未達のおそれがある生徒の把握

学期初め

• 学期初めに診断的評価、学級担任や教科担任の推薦などを参考にして、科目履修基準に満たないおそれがある生徒を把握

第2段階

最低達成レベル保障のための予防的指導

学期中

• 科目履修基準に満たないおそれがある生徒のうち、希望者を対象に予防的指導を実施
 例 放課後指導、放課後基礎学力保障プログラム、補習課題の付与、学習メンタリング、情緒的支援プログラム、教科授業時間に別途行う指導など

第3段階

最低達成レベル保障のための補習指導

学期末

• 科目履修基準に満たなかった生徒を対象に補習指導を実施
 例 放課後 (または夏休み・冬休み中) の対面指導 (リアルタイム双方向オンライン授業を含む)、オンラインコンテンツ (EBSI) 受講、補習課題の付与、学習メンタリングなど
 • 1単位あたり5時数の補習指導



교육부

Ministry of Education